

卵巢腫瘍について

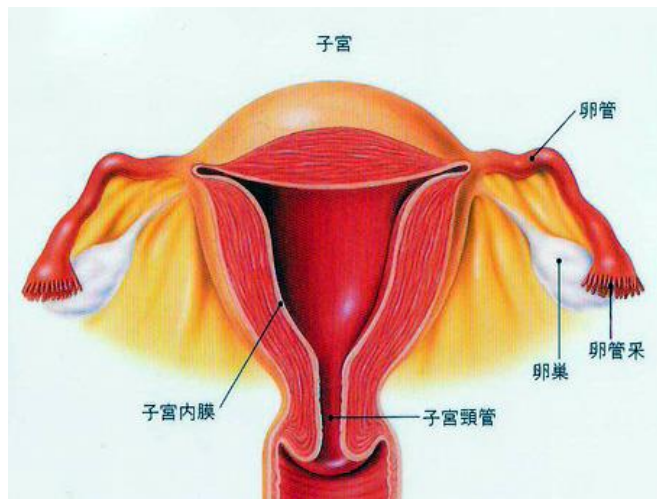


概要

卵巢腫瘍とは

卵巢は子宮の両脇にある親指の頭ほどの大きさの臓器です。この卵巢に発生した「はれもの」を卵巢腫瘍といいます。

卵巢腫瘍には風船の中に液体（水、脂、粘液、古い血液など）が貯まっているタイプ（卵巢嚢腫：らんそうのうしゅ）と、肉詰めのように中に何かが詰まっているタイプ（充実性卵巢腫瘍）、またこの両者が混ざっているタイプなどがあり、充実性の卵巢腫瘍の一部は悪性（卵巢がん）の場合もあります。



卵巢がん以外の良性の腫瘍も含めて分類すると、卵巢には多種類の腫瘍が発生するため、正確な診断は、手術によって摘出した卵巢を詳細に調べ、ようやくわかる場合もあります。

多くの卵巢腫瘍は良性ですが、わが国では毎年約 7500 人が新たに卵巢がん罹患し約 4500 人が卵巢がんで死亡し、その死亡率は年々増加しています。卵巢がんの年齢分布を見ると 40 歳以降増加し、60 歳代にピークがあります。

卵巢腫瘍の症状（無症状のことが多く偶然発見されることも多い）

胃腸に病気が発生した場合は、食欲がない、胃がいたい、下痢、便秘などの症状が早期に現れることも多いのですが、卵巢は血液中にホルモンを分泌したり、卵子を育てる仕事をしており、腸のように常にはたらいっているわけではありません。

しかも卵巢は二つあるため、片方が腫れていても生理やホルモンの異常はないことも多く、卵巢腫瘍は早期に見つけることの難しい腫瘍の一つ（サイレント・キラー）です。

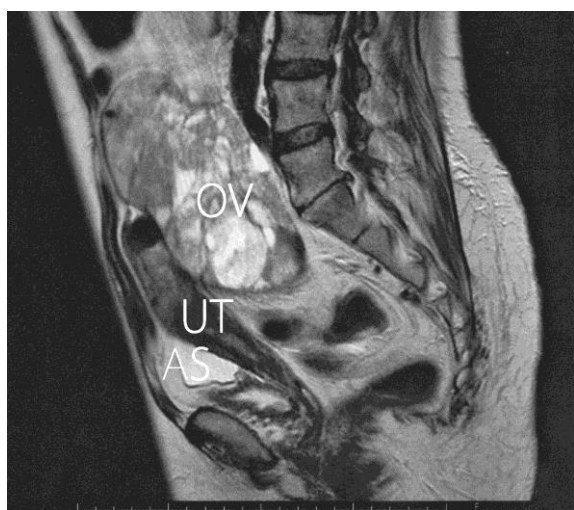
卵巢腫瘍がたまたま行った腹部の検査などで見つかる場合もありますが、かなり大きくなってから下腹部膨満感（下腹部が脹れている感じ）、不快感、腹痛、腰痛などの症状出現するため、最初は婦人科の病気と考えず、内科や消化器科などを受診されてから紹介で婦人科にお見えになる方も少なくありません。

ときに卵巢腫瘍が、おなかの中で急激にねじれて（茎捻転：けいねんてん）強い下腹痛で発見されることもあります。また何かの拍子に腫瘍が破れてお腹の中に内容物が流れ出し、一種の腹膜炎となって救急受診される場合もありますがいずれも比較的まれなことです。

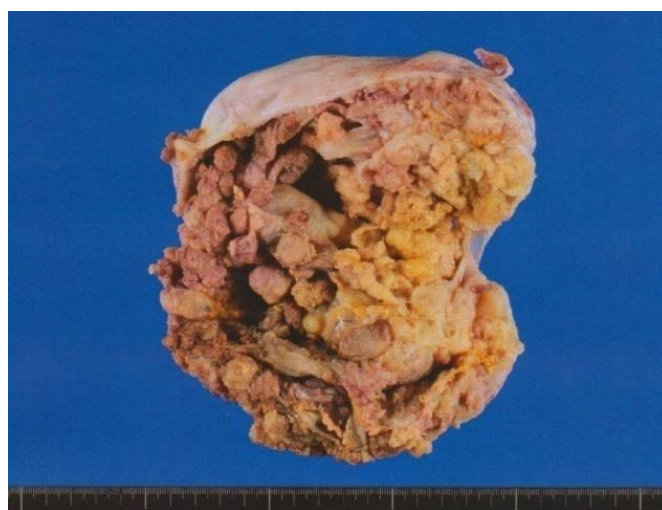
検査並びに診断

- ① 婦人科診察（内診）
- ② 超音波検査
- ③ MRI,CT などの画像検査
- ④ 腫瘍マーカー：CA125 など測定

卵巣腫瘍診断のポイントは良性・悪性をしっかり確認することです。



充実性卵巣腫瘍のMRI像（OV：卵巣、
UT：子宮、AS：腹水）



同摘出卵巣（明細胞がん）

卵巣腫瘍の治療

- ① 卵巣がんが疑われる時
- ② 良性であっても卵巣腫瘍の大きさが5-6cm以上になる場合など、手術によって腫瘍を摘出することが治療の原則です。

手術前から卵巣がんが強く疑われる場合は開腹手術になることが多く、卵巣だけではなく子宮、大網、リンパ節なども同時に摘出する拡大手術や術後の抗がん剤治療、ときに再手術が必要になることもあります。

良性卵巣腫瘍に対する手術は、腫瘍のみを摘出するか、あるいは腫瘍のある側の卵巣、卵管を含めて摘出します。良性卵巣腫瘍の手術は腹腔鏡という内視鏡をお腹の中に挿入し小さな傷で行うことが一般的です。

卵巢腫瘍とまぎらわしいもの

機能性卵巢嚢胞

成熟期女性の卵巢は、定期的に排卵を起こします。排卵前後は卵巢内に卵胞液がたまって嚢胞のように見えたり、排卵後の傷口に出血がたまる（出血性黄体嚢胞）することがあります。いずれも正常な変化であり、数日～数ヶ月で軽快、消失しますが、ときに4～5cm程度まで腫れて、腹痛を伴うような場合は本当の卵巢腫瘍と区別がむずかしくなる場合があります。

ルテイン嚢胞

妊娠初期には卵巢から多量のホルモンが分泌されるため、大きく腫れて見えることがあります。妊娠12週以降にしぼんで来ることが多いので、待期的に経過を見ます。

卵巢上体嚢胞（傍卵巢嚢胞）

胎児期初期の生殖器に男女の区別はなく、男性ではウォルフ管が発達して女性ではミュラー管が発達して卵管・子宮・膣の一部になり、ウォルフ管は退化します。このウォルフ管の退化した痕跡は全ての女性で見られますが、退化した管の内腔に液体がたまって、のう胞（液体の袋）を形成することがあります。

これを卵巢上体のう胞（らんそうじょうたいのうほう）または傍卵巢のう胞（ぼうらんそうのうほう）といい、病気というよりは生まれつきの個性と考えられ、治療の必要はありません。しかし、のう胞が卵巢の近くにあって、ある程度大きな場合、卵巢嚢胞との区別がむずかしい場合があります、手術の対象になる場合もあります。

子宮内膜症性嚢胞（いわゆるチョコレート嚢胞）

子宮内膜症が卵巢に発生した場合、古い血液が貯まって「チョコレート嚢胞」を形成します。これは血液が貯まった状態で、厳密には「腫瘍」ではありませんが、ある程度大きく腹痛など症状を伴う場合は手術の対象になります。

チョコレート嚢胞の患者さんを長期に経過観察すると卵巢がんを合併する場合がありますといわれ、あまり大きくなく無症状であっても定期的な検診は必要です。

付) 卵巣腫瘍の分類

| | 良性腫瘍 | 境界悪性腫瘍/低悪性度腫瘍/ 悪性度不明の腫瘍 | 悪性腫瘍 |
|-----------------|---|---|---|
| 上皮性腫瘍 | 漿液性嚢胞腺腫・腺線維腫 漿液性表在性乳頭腫 粘液性嚢胞腺腫・腺線維腫 類内膜嚢胞腺腫・腺線維腫 明細胞嚢胞腺腫・腺線維腫 プレナー腫瘍 漿液粘液性嚢胞腺腫・ 腺線維腫 子宮内膜症性嚢胞 | 漿液性境界悪性腫瘍 粘液性境界悪性腫瘍 類内膜境界悪性腫瘍 明細胞境界悪性腫瘍 境界悪性プレナー腫瘍 漿液粘液性境界悪性腫瘍 | 低異型度漿液性癌 高異型度漿液性癌 粘液性癌 類内膜癌 明細胞癌 悪性プレナー腫瘍 漿液粘液性癌 未分化癌 |
| | | 微小乳頭状パターンを伴う漿液性境界悪性腫瘍* | |
| 間葉系腫瘍 | | | 類内膜間質肉腫 |
| 混合型上皮性 間葉系腫瘍 | | | 腺肉腫 癌肉腫 |
| 性索間質性腫瘍 | 線維腫 莢膜細胞腫 硬化性腹膜炎を伴う 黄体化莢膜細胞腫 硬化性間質性腫瘍 印環細胞間質性腫瘍 微小嚢胞間質性腫瘍 ライディッヒ細胞腫 ステロイド細胞腫瘍 セルトリ・ライディッヒ細胞腫 (高分化型) | 富細胞性線維腫 若年型顆粒膜細胞腫 セルトリ細胞腫 輪状細管を伴う性索腫瘍 セルトリ・ライディッヒ細胞腫 (中分化型) その他の性索間質性腫瘍 | 線維肉腫 悪性ステロイド細胞腫瘍 セルトリ・ライディッヒ細胞腫 (低分化型) |
| | | 成人型顆粒膜細胞腫* | |
| 胚細胞腫瘍 | 成熟奇形腫 良性卵巣甲状腺腫 脂腺腺腫 | | 未分化胚細胞腫 卵黄嚢腫瘍 胎芽性癌 絨毛癌(非妊娠性) 混合型胚細胞腫瘍 悪性卵巣甲状腺腫 (乳頭癌、濾胞癌) 脂腺癌 癌(扁平上皮癌、その他) |
| | | 未熟奇形腫(Grade 1~Grade 3)* カルチノイド腫瘍* | |
| 胚細胞・ 性索間質性腫瘍 | | 性腺芽腫 分類不能な混合型胚細胞・ 性索間質性腫瘍 | |
| その他 | 卵巣網腺腫 | ウォルフ管腫瘍 傍神経節腫 充実性偽乳頭状腫瘍 | 卵巣網腺癌 小細胞癌 ウィルムス腫瘍 悪性リンパ腫 形質細胞腫 骨髄性腫瘍 |